

## 屋内タンク貯蔵所（屋内の20号タンク含む）構造設備明細書 記載事項

- ①「事業の概要」の欄は、事業の内容について具体的に記入すること。
- ②「タンク専用室の構造」の欄のうち、「その他」の欄は、タンク専用室の建築面積を記入すること。
- ③「建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造」の欄は、次により記入すること。
  - ア 建築物全体が屋内タンク貯蔵所になる場合は記入しない。
  - イ 建築物の一部に設置する場合は、建物全体についての建物構造を記入すること。
- ④「タンクの構造、設備」の欄は、次により記入すること。
  - 「形状」の欄は、タンクの形状を「角型」、「縦置円筒型」等と記入すること。
  - 「常圧・加圧」の欄は、該当する形態を「□」で囲い、加圧の場合数値を記入すること。
- ⑤「寸法」の欄は、当該タンクの寸法を「縦〇〇mm、横〇〇mm、高さ〇〇mm」等と記入すること。
- ⑥「容量」の欄は、「内容積〇〇ℓ、空間容積〇〇ℓ（〇〇%）、容量〇〇ℓ」等と記入すること。
- ⑦「材料、板厚」の欄は、タンクの材質及び板厚を「底板〇〇mm、側板〇〇mm、屋根板〇〇mm 全てSUS304」等と記入すること。材質が部材により異なる場合は、「底板（SS400）8mm」等とすること。
- ⑧「通気管」の欄は、通気管の種別、数、内径、又は作動圧を記入すること。
- ⑨「安全装置」の欄は、安全装置の種別、数、作動圧について記入すること。
- ⑩「液量表示装置」の欄は、覚知装置を「自動式液面計」等と記入すること。
- ⑪「引火防止装置」の欄は、有・無に「□」をつけること。
- ⑫「注油口の位置」の欄は、注油口の位置について記入すること。

例：「遠方注入口」（別添図面の位置）、「タンク直上」「ビル西側」等と記入すること。
- ⑬「注入口付近の接地電極」の欄は、「有」・「無」に「□」をつけること。
- ⑭「ポンプ設備の概要」の欄は、ポンプ設備の種別（うず巻きポンプ・ギアポンプ等）、数、固定方法、設置位置、防爆仕様について記入すること。
- ⑮「採光、照明設備」の欄は、種別（窓、照明）、防爆構造の種別、数を記入すること。
- ⑯「換気、排出の設備」の欄は、換気又は排出の別、材質、個数、防爆仕様、引火防止網の有無等を記入すること。
- ⑰「配管」の欄は、使用する配管の材質、口径、継手方法、外面防食方法を記入すること。
- ⑱「消火設備」の欄は、適応する消火設備を記入すること。

例：「第5種（ABC粉末3.5kg）2本」「第3種二酸化炭素消火設備（全域）」
- ⑲「警報設備」の欄は、危険物の規制に関する規則第37条で規定する区分のうち、設置したものを記入すること。
- ⑳「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入すること。